

シリーズ豊前市 SDGs とは？ “誰一人取り残さない持続可能な社会”を実現する世界共通目標である SDGs。全部で 17 個ある SDGs の目標を、地域の視点を取り入れ、そして一人一人ができる取組事例を取り入れて、毎月 1 つずつご紹介していく 2022 年 1 月から開始した連載です。地域の未来のために、私たちと私たちの大切な人が持続可能であるために。豊前で始める最初の第一歩。毎月 SDGs を一緒に学びながら、**自分にできることを一緒に始めていきましょう。**

目標 8「働きがいも経済成長も」 一人一人の豊かな生活と経済の成長を同時に達成すること
働く人を守り働きがいのある仕事を増やすこと

世界には、働きたいと思っているのに仕事がない失業者が約 2 億 1,000 万人います。そして、仕事があっても、5人に1人は十分な収入を得ることができず、貧困から抜け出す事ができていません。労働時間や労働条件が厳しい環境で働かなくてはいけない人も少なくありません。また、世界では学校で勉強したくてもできず、いろいろな理由から働かなくてはならない子どもたちがたくさんいます。5～17歳の働く子どもの数は約1億6,000万人。世界の子どもの10人に1人が学校で教育を受けることなく働いています。

働きがいのある人間らしい仕事。働く人のあらゆる権利が守られ、生活が安定する仕事をディーセント・ワークといいます。貧富の格差が拡大しているといわれる今、地球のみんなが幸せに暮らすためには、ディーセント・ワークをいかに実現できるのか、考えていかななくてはなりません。また、これからの時代は、大量生産・大量消費を卒業し、経済の発展と環境を守ることを両立することが大切です。持続可能な経済成長の仕組みづくりは、SDGsの大きな目標となっています。



豊前市の取組 | おしごと豊前ナビ 「おしごと豊前ナビ」は
豊前市で働きたい方を応援するポータルサイトです

日本世界的に見ても長時間労働が課題となっています。2014年のデータ(出所: OECD)ではパートタイムなどが多い女性を除いた「男性1日あたりの平均労働時間」が世界1位となっています。また、非正規職員は正規職員の収入に比べ、欧州は8割であるのに対し日本は6割程度となっており、収入格差が目立ちます。日本ではこれらの課題の解決とともに、育児や介護の負担の大きい女性や、時間的拘束のある人たちの社会での活躍を推進することなどが重要な取組となっています。豊前市では、「働きがいも経済成長も」を促進する取組として「おしごと豊前ナビ」を運営しています。豊前市で暮らしも仕事も充実させたい方、豊前市に UIJ ターンしたい方など、豊前市で働きたい方を応援するポータルサイトです。求人情報、企業情報、就業イベント情報が掲載されており、気になる仕事、気になる企業をご覧ください。お手持ちのスマホやパソコンからいつでもエントリーできますので、ご活用ください。

お問合せは 商工観光課 企業立地係 ☎82-8079



SDGsの主人公はわたしたち 身近なところにある SDGs
一人一人ができる取組事例



目標 8「働きがいも経済成長も」は「ディーセント・ワークと経済成長の実現を目指すこと」が目標です。今回ご紹介する取組以外にも、個人でできる取組はたくさんあります。

まずは新聞や公共施設など周囲に目を向け、身近に自分ができる取組が紹介されていないか、そしてヒントが隠れていないか探し、できることから始めましょう。

<わたしたちにもできること>

- ① 家族や友だちと「働くこと」について次のようなテーマについて考えたり話し合ってみること
「働き方改革って?」「ブラック企業がなくなるのはなぜ?」「働きがいのある仕事って?」「仕事とプライベートの両方が充実した、バランスの良い人生を送るにはどんな働き方が良いか」
- ② ワークライフバランスを考えて働いてみる
- ③ 世界の雇用について、児童労働、強制労働、経済発展と環境破壊等について調べてみる

株式会社ニコン日総プライム 水谷洋司(英国 CMI 認定サステナビリティ(CSR)プラクティショナー)